

良陵協議会への感謝と期待



東北大学大学院医学系研究科長 医学部長 八重樫 伸 生

医師初期研修必修化制度が始まって以来、多くの大学で教育研修関連病院を統括する独自の組織を作っています。その中でも良陵協議会は前身である三者協議会の時代から考えますと国内で最も歴史のある組織の一つではないかと思います。また良陵協議会がNPO法人化されて十年以上がたち第三者的な組織運営がなされ体制としても安定していると言えます。

良陵協議会の果たすべき使命はさまざまですが、最も重要なものは東北大学病院・医学部・医学系研究科とその関連病院との橋渡し役ではないかと思います。

東北大学医学部医学科に所属する学生の教育や臨床実習、東北大学病院と関連する病院の初期研修プログラムや専門医制度プログラムの支援、各プログラムへの勧誘などの事業が持続的に行われています。例えば、卒後初期臨床研修中の医師に対してキャリアパスの説明会を開催し、大学院進学や後期専門医研修の可能性について情報提供をしています。加盟病院の広報や説明会を開催し、全国規模で開催される研修病院説明会でも加盟病院の宣伝を積極的に行うことで、研修医が優れた指導の下に安全に充実した研修を行うことができるよう支援しています。さらに、指導医の確保と養成のために東北地方で独自に開催する指導医講習会を運営しています。献体を用いた外科手術手技トレーニング、プタを用いた手術手技研修会の開催などは他大学にはない独自の取り組みで、東北大学の臨床レベルの維持とレベルアップに多大な貢献をしています。また、地域医療に従事する医師の勤務状況調査や初期臨床研修後の動向調査などを行うことで、東北大学医学系研究科や東北大学病院の教育・研修環境の充実につながる貴重な基礎的なデータ収集と提言を行っています。このような事業を長年続けてこられました関係各位に深く感謝申し上げます。

一方で、最近の東北大学病院・医学部・医学系研究科と良陵協議会加盟病院との関係に若干の懸念も抱いております。それは両者間での人事交流が希薄になってきたのではないかという点です。初期臨床研修レベル、後期専門医研修レベル、科長クラス、そして病院長クラスでの人事が以前に比べ少なくなってきたように感じております。その要因としては、昨今の日本の社会における人間関係の希薄化、政治・経済・資本の東京一極集中と若者の東京志向、同窓会組織の活動の低迷などがあげられ、医療・医学以外のさまざまなものも絡んでいると思います。客観的なデータを持ち合わせているわけではなく私個人の感覚的なものかもしれませんが、少なくとも良陵協議会組織を通じた連携を深め人事交流が盛んになることで相互に発展していけるのではないかと思うのですが、良陵協議会会員の皆様はいかがお考えでしょうか。

腹腔鏡手術セミナー

「第16回 みちのく産婦人科ラパロトレーニングセミナー」

東北大学病院 産婦人科 大学院生 久野 貴 司



当科では良陵協議会、動物実験施設のご支援の下、東北大学病院先端医療技術トレーニングセンターにて腹腔鏡手術セミナーを開催しております。

2014年2月の第1回に始まり、その後名称変更などを経て、2019年8月3日に「第16回 みちのく産婦人科ラパロトレーニングセミナー」を開催することができました。第13回みちのく産婦人科ラパロセミナーからは日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医取得に必要な実技研修会としての認定を得たセミナーとなっています。受講者の主たる対象は東北大学病院や東北各地の関連病院に所属する専攻医・専門医です。日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医の取得を目指して、知識・技術の向上に励んでおります。

産婦人科では、良性腫瘍に対する侵襲軽減、整容性を重視した手術にとどまらず、腹腔鏡下子宮体癌根治手術が保険収載されるなど悪性腫瘍の分野でも重要性が増しており、産婦人科医にとって、腹腔鏡下手術は習得すべき必須の技術となっております。腹腔鏡下手術を学ぶにあたり、教科書を読むことや人の手技を見ることももちろん大切ですが、アニマルラボでのトレーニングの重要性には代えがたいものがあります。

経験の浅い受講生はトロッカーの挿入、腸管が落ち込みやすい骨盤内での視野の取り方、骨盤解剖の理解、パワーデバイスの使用法、体内での運針・縫合・結紮といった基本手技を安全に行う技術と知識を習得することを目標としています。ある程度経験がある受講者は骨盤内・傍大動脈リンパ節の郭清、深部骨盤の展開、子宮摘出など難易度の高い手術を完遂することを目標としています。初心者でも経験者でも、普段手術で経験するより難しい手技や challenging な手技を経験できるのがアニマルラボの利点かと思えます。セミナーの後半では大量出血のシミュレーションとして、大血管損傷への対応のシナリオを行っています。今後もより内容を充実させてセミナーを継続して行いたいと考えております。

最後に、多大なサポートを賜りました良陵協議会、動物実験施設、先端医療技術トレーニングセンターの皆様へ深く感謝いたします。今後ともよろしく願いいたします。